
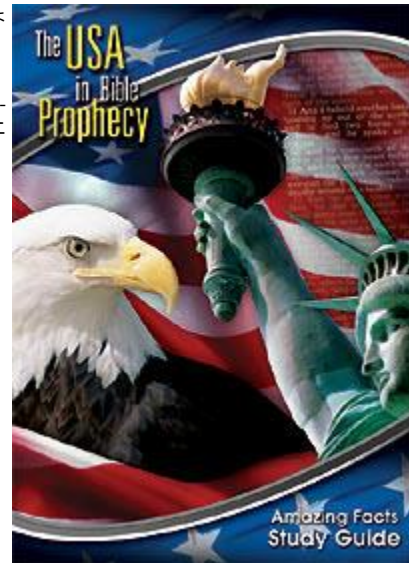


21. 聖書の預言に現れたアメリカ合衆国

このページのプリント 

アメリカ合衆国が、聖書の預言に記されているというのは本当なのでしょうか？ そのとおりなのです！ よく考えてみますと、この地球上で最も強力で、影響力のある国が、世界の最終歴史において起こる驚くべき諸事件で、重要な役割を果たすということが理解できるのではないのでしょうか。この世界における一流大国がどのように存在するようになり、なぜ存在しているのかということを聖書は明らかにしており、よりいっそう驚く学びがあなたを待っています。この聖書研究講座をはじめる前に、ヨハネの黙示録 13:11-18 をどうぞお読みください。この 8 節において、これからアメリカ合衆国で起こる預言的な描写を見ることができます。



1. ヨハネの黙示録 13 章において、二つの世界的な権力が象徴されていますが、最初の権力は何でしょうか？

答え：七つの頭を持つ獣（ヨハネの黙示録 13:1-10）は、ほかならぬローマ法王制度です（聖書研究講座の 15 課はこの課題を網羅しています）。聖書の預言における獣は、国々、世界的権力などを象徴していることを覚えておいてください。



黙示録 13:1-10 の獣は、ローマ法王制度を象徴している。

2. ローマ法王制度が、世界的な影響力と権力を失うと預言されているのはいつでしたか？

「この獣に ... 四十二か月のあいだ活動する権威が与えられた。」ヨハネの黙示録 13:5

答え：ローマ法王制度は、42 ヶ月ののちに世界的な影響力と権力を失うと聖書は預言しました。この預言は、1798 年、ナポレオンの参謀長であったベルティエが法王を捕らえたことで、教皇権力が死ぬほどの傷を受けたときに成就しました。（詳細は 15 課をご覧ください。）



1798 年、ベルティエ将軍が法王を捕虜にし、ローマ法王制度に致命的な傷を負わせた。

3. 教皇制度は、死ぬほどの傷を受けましたが、ほぼ同時期に、どの国が興ることが預言されていましたか？

「わたしはまた、ほかの獣が地から上がってくるのを見た。それには小羊のような角が二つあって、龍のように物を言った。」ヨハネの黙示録 13:11

答え： 黙示録 13 章の 10 節に書かれているローマ教皇の捕囚は、1798 年に起こり、ほぼ同じ時期に、新しい権力(11 節) が現れることがわかります。アメリカ合衆国は、1776 年に独立を宣言し、1787 年にアメリカ合衆国憲法が可決され、1791 年に権利章典(Bill of Rights 憲法中の人権保障規定) が承認され、1798 年には、世界的な権力としてはっきりと認識されていました。このタイミングは明らかにアメリカ合衆国に合うものです。どのようなほかの権力も、この預言に適合する可能性のあるものではありません。



ヨハネの黙示録 13:11-18 の獣は、アメリカ合衆国を象徴している。

4. 獣が「地から上って来る」とはどのような意味でしょうか？



預言において、アメリカ合衆国は、人口の少ない場所から興ると告げられていた。

答え： ダニエル書と黙示録で述べられていたほかの国々は、水(海) から上って来ましたが、ここでは「地から上って」きて国が興ると書かれています。黙示録によると、水は世界の人口が密集している地域を象徴していることがわかります。「あなたの見た水、すなわち、淫婦のすわっている所は、あらゆる民族、群衆、国民、国語である。」ヨハネの黙示録 17:15。ですから、地は水の逆で、この新しい国は、1700 年代後半になるまでに、ほとんど人が住んでいない世界の地域から起こるということの意味しています。それは旧世界の込み合った争いあう国々の中から起こるのではなく、人口の少ない大陸から起こらなければなりませんでした。

5. 子羊のような二つの角、そして王冠が存在しないということは何を象徴しているのですか？

答え： 角は王、王国、または政府を象徴します(ダニエル書 7:24; 8:21)。この場合、これらの角は、アメリカの二つの統治原理である：市民の自由と権利と宗教の自由を象徴します。これらの二つの統治原理はまた「共和政体主義」(王なしの政治)、「プロテスタント主義」(教皇なしの教会)とも名付けられています。古代から、他の国々は、国家の宗教を支えるために国民に税を課していました。また、ほとんどの人が宗教的に意見の異なる人々を弾圧していました。けれどもアメリカは全く新しいものを成立させたのです：それは政府の保護のもとに、政府の干渉や規制はなく、自らの望み通りに礼拝することができるというものです。王冠が存在しないということは、君主政体ではない、むしろ共和政体を意味しています。子羊のような角とは、純真で、若く、圧政的でなく、平和を愛する霊的な国を表しています。ヨハネの黙示録で 28 回、イエスは子羊と呼ばれています。このように、この新しい政府は、神の原則を維持しようと努力しました。アメリカ合衆国以外に、子羊のような角を持った獣の特徴と、出現の時期に合う権力は、この地上にはありえません。

特記： アメリカ合衆国に関するイエスの説明が、ここで終了できたらどんなにいいことでしょうか。しかしながらそれはできません、なぜならイエスの説明はそこで終了しなかったからです。衝撃的で動揺するような出来事がこの次に起こります。アメリカ合衆国は真に偉大な国です。良心、出版、言論、事業の自由があり、国からの保護が保障されています。またアメリカは格好の機会を得ることのできる国であり、公明正大な意識、弱者への同情、堅固なクリスチャンとしての姿勢と信念を持っています。完璧な国ではありませんが、それでも毎年多くの人々が、何とか早くアメリカ合衆国の市民になりたいという理由でこの国を訪れています。もしアメリカへ来るチャンスが与えられるならば、すぐにも世界の膨大な数の人々が、アメリカ合衆国へ移住してくることでしよう。それは彼らがこの国を、「地上の天国」と見なしているからです。悲しいことに、豊かに祝福された国は、近い将来急激に変化し、神の民は未曾有の苦悩と苦痛に陥ることになるでしょう。私たちはこの事実を深い憂慮の念を抱きつつ、重い気持ちでお伝えしなければなりません。

6. ヨハネの黙示録 13:11 に、アメリカが「龍のように物を言った」という預言が書かれていますが、これはどのような意味なのでしょう？

答え：この講座の20課で学んだように、龍はサタンのことで、サタンは地上のさまざまな政府を通して働き、彼の邪悪な王国を打ち立て、神の民を迫害し滅ぼすことによって神の教会を打ち壊そうとしています。サタンの目的は、常に神の権力と王座を奪い、人々に彼を拝ませ、服従させることを強要することです。(詳細はこの講座の2課を参照)したがって、「龍のように物を言う」とは、(サタンの影響下で)アメリカ合衆国は、世の終わりに、人々の良心に反して礼拝を強制し、それに従わなければ罰するようになるという意味なのです。



終末におけるアメリカ合衆国は、礼拝するか、または刑罰を受けるかのどちらかを人々に強制するようになる。

7. アメリカ合衆国が、龍のように物を言うようになるというのは特にどのようなことをするのでしょうか？

答え：次の重要な四つの項目にご注目ください：

A. 「先の獣の持つすべての権力をその前で働かせた。」 ヨハネの黙示録 13:12 アメリカは、ローマ法王制度が行ったように、人々の良心に反して強制し、迫害する権力になってしまいます。これがヨハネの黙示録13章の前半に描かれていることなのです。

B. 「また、地と地に住む人々に、致命的な傷がいやされた先の獣を拝ませた。」 ヨハネの黙示録 13:12 アメリカ合衆国は、ローマ法王教の反キリストを拝むことを強要し、忠誠を尽くさせることにおいて世界の国々の先頭に立ちます。論点は常に礼拝です。あなたが礼拝し服従するのはだれでしょうか？あなたの創造主であり贖い主であるキリストですか？または反キリストでしょうか？この地上のすべての人は、最終的にどちらかを礼拝することになるのです。反キリストが行うすべてのことが非常に霊的に思えます。何十億人もの人々を欺く信じがたい奇跡が行われます(ヨハネの黙示録 13:14,15)。この運動に加わることを拒む人々は、神を恐れぬ不敬な過激主義者と見なされてしまうでしょう。イエスは終末のプロテスタントであるアメリカを「にせ預言者」と名付けておられます(ヨハネの黙示録 19:20 ; 20:10) が、それは霊的で信頼に値するように見せかけながら悪魔のような残虐行為をするようになるからです。



終末には、背教したキリスト教と政府が一致して人々の良心を強制する。

これらすべてのことは今は起こりえないように思われますが、イエスの御言葉は常に完全な信頼を置くことができ真実です(テトスへの手紙 1:2)。イエスは、世界四大帝国の興亡と反キリストのことを預言されました(ダニエル書 2章、7章)が、その当時は突飛で信じがたいことのように思われたのです。けれども、それらすべては、預言された通りに正確に成就したのです。今日、イエスは預言に関して次のような警告を私たちに下さっています。「今わたしは、そのことが起こらない先にあなたがたに語った。それは、事が起こった時にあなたがたが信じるためである。」ヨハネによる福音書 14:29

C. 「さらに、先の獣の前で行うのを許されたしるしで、地に住む人々を惑わし、かつ、つるぎの傷を受けてもなお生きている先の獣の像を造ることを、地に住む人々に命じた。」 ヨハネの黙示録 13:14 アメリカ合衆国は、宗教的な事柄に関して法律を制定することにより、獣の像を造ります。人々に礼拝を強要する法令を可決し、それに従わなければ死に直面することになってしまうのです。この方策は、何千万という人々が信仰のために殺された中世時代、ローマ法王制度が権威の頂点にあったときに駆使した政教一致の模倣なのです。アメリカ合衆国は、背教したプロテスタント教会と一致し、ローマ法王制度を支持します。それによってこの模倣に従うように世界のすべての国々に感化を与えることとなります。このようにして、ローマ法王制度は世界的な支持を手に入れるのです。

D. 「また、その獣の像を拝まない者をみな殺させた。」 ヨハネの黙示録 13:15 この国際的運動の頭であるアメリカ合衆国は、次に、獣とその像を礼拝することを拒否するすべての人に、世界的な死の法令を課すようにと世界諸国に促します。「大いなるバビロン」がこの世界連合の別名です。(聖書講座 22 課ではさらなる学びをいたします) この世界同盟はキリストの名の下で、聖霊の働きだと称して警察権(訳注: 公共の安全と秩序を維持するために国民に対し命令や強制を加える公権力)を行使し、礼拝を強制するようになります。

8. 権力を用いて死の法令を可決するのは、特にどの問題に関してなのでしょう？

「それから、その獣の像に息を吹き込んで、その獣の像が物を言うことさえできるようにし、また、その獣の像を拝まない者をみな殺させた。また、小さき者にも、大いなる者にも、富める者にも、貧しき者にも、自由人にも、奴隷にも、すべての人々に、その右の手あるいは額に刻印を押させ、この刻印の無い者みな、物を買うことも売ることもしないようにした。この刻印は、その獣の名、または、その名の数字のことである。」黙示録 13:15-17

答え：最終的な論点は、獣に従い、日曜日を聖日として礼拝し、獣の刻印を受けるのか、それともキリストに従い、七日目安息日を神の聖日として礼拝し、神の印を受けるのかということです。(この講座の20課の詳細をご覧ください。)日曜日に礼拝して安息日を破るか、または従わずに命を失うかという論点が明らかになり、その後、安息日ではなく日曜日を選ぶ人々は、実のところ獣を拝んでいることになるのです。日曜日を礼拝する人々は、彼らの創造主であるイエス・キリストの言葉よりも被造物である人間の言葉に従うということを選ぶこととなります。ここにローマ法王教が自ら述べた言葉があります「教会が安息日を日曜日に変更し、全世界がカトリック教会の権限に無言のうちに服従し、その日にひれ伏し礼拝をしている。」Hartford Weekly Call, February 22, 1884.



9. 政府が売買を支配することは本当に可能なのでしょうか？



第二次世界大戦において、食料、燃料、タイヤ、その他の生活必需品の取引が、配給切符によって管理されていた。再び、そのような規制が容易に利用されるであろう。

答え：第二次世界大戦において、いくつかの物（たとえば砂糖、タイヤ、車の燃料など）の購入は規制されており、配給切符が必要でした。切符なしではお金はまったく価値のないものでした。現代の高度に情報化された時代においては、社会保障番号（注：日本のマイナンバー制度のようなもの）に基づく制度を容易に設定することができます。あなたが世界連合に協力することに同意しない限り、何かを購入する前に打ち込まなければならないあなたの番号は、不適切ということになってしまいます。これらのことが実際どのように起こるのかは、はっきりとはわかりません。けれども起こることは確かです、なぜならヨハネの黙示録 13:16,17 で、そのようになると神が言っておられるからです。

二つの新興国

世の終わりのときに、アメリカ合衆国と、ローマ法王制度の二つの超大国が出現するという、ヨハネの黙示録 13 章に書かれている預言は疑う余地がありません。アメリカ合衆国は指導的な立場に立って世界の人々に獣（ローマ法王教）を拝ませ、獣の刻印を受けなければ死に直面せざるを得ないようにすることによって、ローマ法王教を支持します。次の二つの質問において、これら二つの超大国の威力を探ります。

10. 今日、ローマ法王制度は、どのように強力であり、また有力なのでしょうか？

答え：この制度は、宗教と政治が合体した世界に抜きん出る最強の権力を持っています。事実、世界の先進国すべてが、正式な外交使節団をバチカンに派遣しています。下記の事実にご注目ください：

A. ローマ法王制度は、非常な勢力と権力があり、大半の主要国は、重要な政策措置を講じる前にローマ法王制度に相談します。その「外交団は、100 カ国以上の国々との関係を維持している。」 *U.S. News and World Report*, October 30, 1978, p.24.

B. ローマ法王制度は、共産主義の終結に貢献し、イエスの母マリヤが、法王の方策を導き、共産主義崩壊をもたらしたと言っています。"Handmaid or Feminist," *Time*, December 30, 1991, pp. 64, 65.

C. 法王の狙いは、今世紀の終わりまでに、ローマ法王制度の指揮の下にキリスト教国を統一することです。その目的のための足固めとして、法王（訳注：この時点ではヨハネ・パウロ二世のこと）は 40 Hogberg, *The Plain Truth*,

間中、法王と合衆国大統領は、世界情勢に関して毎 *Report*, August 13, 1990, p. 18.

E. 1982 年 6 月 7 日に、前大統領ロナルド・レーンするための計画を練るために、50 分間バチカンで面を広めるための手助けとして、大量の近代通信機器 "The Holy Alliance," *Time*, February 1992,



法王は、非常に人気のある世界の指導者である。

年、東ヨーロッパで起こった事柄のすべては、世界の舞台で役割を果たした法王の努力と、政治的任務を含む甚大な役割なしには不可能であった。」 *Mikhail Gorbachev, Toronto Star*, March 9, 1992.

プロテスタントのことを、以前は「異端者」と呼んでいたローマ法王制度は、現在、彼らを「離ればなれになっている兄弟」と呼び、平和と神のご臨在のために共に働き祈ることを、丁寧に提言しており無数のプロテスタントの人々は深く感銘しています。実際、いくつかのプロテスタント宗派は、宗教改革の原因になった相違を解決するために、ローマ法王制度と正式な対話を交わしました。

（訳注：上記の情報は、この聖書講座が執筆された 2006 年当時のものです。現在、ローマ法王教が世界的にどれだけの権力を有する制度になったのかはだれの目にも明らかかなことです。）



ローマ法王制度は、宗教と政治が合体した地上で最強の権力である。

カ国以上の国々を訪問しています。Gene H. November/December 1989, pp. 24, 25.

D. 世界的な反応は圧倒的なものです。イラク危機の週電話で討議していました。 *U.S. News and World*

ガンと法王ヨハネ・パウロ二世は、共産主義を打破す会をしました。アメリカ合衆国は、大衆に必要な情報をポーランド（出発地点として）に送りました。 pp. 28, 31, 35.

F. ゴルバチョフは次のように言っています。「近

11. 今日、アメリカ合衆国は、どのように強くまた影響力の強い国なのでしょうか？

答え：アメリカ合衆国は、世界一の軍事国であり、最も影響力のある国とみなされています。下記の事柄にご注目ください：

A. 「[アメリカ合衆国] この惑星でただひとつ残存する超大国である。」 "The U.N. Obsession," *Time*, May 9, 1994, p. 86.

B. 「アメリカ合衆国に匹敵するどのような権力も、ごく近い将来に起る見通しはない。」 Charles Krauthammer, "The Lonely Superpower", *The New Republic*, July 29, 1992, p. 23.

C. ヤシール・アラファトは、アメリカ合衆国を「新しいローマ」と名付けている、それは古いローマがその時代に明白な超大国であったように、今日、アメリカは、世界最大の超大国である。 *Newsweek*, August 12, 1991, p. 33.

D. 「アメリカ合衆国の権力が、現在、世界のすべての主要な出来事を決定している。」 Jim Hoagland, "Of Heroes ...", *The Washington Post*, August 21, 1991, p. A-23.

革マル派（革命的マルクス主義派）がエチオピア政府を転覆させる際、アメリカはそのための交渉を依頼された。ボリス・エリツィンが新たに独立したロシア



アメリカ合衆国は、世界一の軍事国である。

の大統領として就任したとき、まずアメリカを訪問した。旧ソビエト連邦の大統領であったミカエル・ゴルバチェフは、危機に陥った際、アメリカに頼ってきた。クウェートが侵略されたとき、アメリカに（助けを）要請した。アメリカ主導の対イラク戦争では、ほぼ全世界に支持者を呼び集めた。ナショナル・パブリック・ラジオ（米国の公共ラジオ放送制作会社）の通信員は、アメリカの大統領を「世界の大統領」と呼んだ。我々は今日、「単一政権であるが、国際体制の頂点にある、非常に異例な世界的組織、アメリカ合衆国」を有している。 Krauthammer, *The New Republic*, p. 23.



全世界の国々は、今日、アメリカ合衆国に保護と支援を求めている。

12. アメリカ合衆国とローマ法王制度それぞれの影響力と権力が急速に増大していることは明らかです。良心にそむくことを拒む者たちを処罰する世界的法律の準備を助長するその他の要因となるものは何でしょうか？

答え： 確信を持ってそれらを挙げることはできませんが、可能性のあるものとしては下記のとおりです：

- A. テロリストの活動。
- B. 暴動と増大する犯罪、悪事。
- C. 麻薬戦争
- D. 大経済破綻
- E. エイズやほかの伝染病
- F. 過激な民族組織による核戦争の脅威
- G. 政治の腐敗
- H. 裁判所での甚だしい誤審や冤罪
- I. 生活保護、福祉などの誤用、乱用
- J. 増税
- K. ポルノや、忌まわしい不道德
- L. 凄まじい世界的な災害
- M. 過激な「利益集団」（特定の集団の利益を図るべく政治活動を行う団体）
- N. 墮胎についての論争

腐敗、無法状態、不道德、黙認、不正、貧困、優柔不断、政治的指導者の無能、無力などへの反動、そして多くの災いや惨事などは、強力で特別な法律の施行を早めることは容易なことです。

13. 世界情勢が悪化するにつれ、多くの人々を欺くためにサタンはどのようなことをするのでしょうか？

「また、大いなるしるしを行って、人々の前で火を天から地に降らせることさえした。さらに、先の獣の前で行うのを許されたしるしで、地に住む人々を惑わし、かつ、つるぎの傷を受けてもおお生きている先の獣の像を造る事を、地に住む人々に命じた。」 ヨハネの黙示録 13:13, 14

答え： アメリカは、偽りの世界的リバイバルを経験し、すべての人を強制して参加させる宗教的な法律を可決するよう要求します（これがヨハネの黙示録 13:14 で象徴されている「獣の像」です）。人々は、神の聖なる七日目安息日を無視し、その代わりに、獣の「聖なる」日である日曜日に礼拝するように強いられます。ある人々はまた、単に社会的、経済的理由でそれに応じてしまうでしょう。世界の状態は耐え難いものとなり、すべての人が日曜日に礼拝し祈りに参加する「神に立ち返って祈ろう」という世界的な運動だけが解決策のように思えるのです。サタンは、聖書の真理であっても譲歩して日曜日を聖日としなければならぬと世界中の人々を欺き信じさせるようにしてしまいます。ところが本当は、獣に従い、礼拝することは神の国から閉め出されてしまうことになるのです。イエスが、ヨハネの黙示録において、獣を拝み、獣の刻印を受けてしまうことを深刻な問題としておられるのは当然なことです！

14. 偽りのリバイバルへの関心が高まっている間、終わりの時の神の民によってもたらされる真の世界的なリバイバルはどうなりますか？



地球最後の日に、神の終末の希望のメッセージがすべての人に及ぶであろう。

答え：

全世界は栄光で「明るくされた」と聖書に書かれています（ヨハネの黙示録 18:1）。地上のすべての人に、ヨハネの黙示録 14:6-14 の終末における神の三天使のメッセージが宣べ伝えられます（マルコによる福音書 16:15）。神の終末時代の教会は驚くような速さで成長し、何百万人という人々が神の民に加わります。そして神が差し出される無償の恵みと、イエスにある信仰によって与えられる救いを受け入れることで、彼らは神の従順な僕に変えられるのです。世界のあらゆる国々にいる多くの人々や指導者たちは、獣を礼拝することや、偽りの教えに応じることを拒みます。その代わりに彼らはイエスのみに礼拝を捧げ服従します。そのちに神の聖なる安息日の印（しるし）を額に受けませんが（ヨハネの黙示録 7:2,3）、これが彼らを永久に封印することになるのです。

急速な教会の成長は偽りの運動を激怒させる

神の民の間で起る急速な教会の成長は、偽りのリバイバル運動にたずさわっている一回を激怒させます。偽りの運動の指導者たちは、この世界的なりバイバルに協力しない人たちがこの世のすべての災いの原因であると完全に確信してしまいます（ダニエル書 11:44）。彼らは神の民の売買の権利を剥奪します（ヨハネの黙示録 13:16,17）が、神は神の民を養い（イザヤ書 33:16）、守られます（詩篇 34:7）。

15. 切迫感が募った米国主導の連合は、次に彼らの敵を死刑に処することを決定します（ヨハネの黙示録 13:15）。連合体の指導者たちは、神が彼らと共におられるということの人々に確信させるために何をするとヨハネの黙示録 13:13,14 で述べられていますか？

答え： 連合体の指導者たちは奇跡を行います。それは本当に真に迫ったもので、終末の神にある忠実な人々以外は皆、完全に説得させられてしまいます（マタイによる福音書 24:24）。サタン（または墮落した天使）を利用して（ヨハネの黙示録 16:13,14）、彼らは魔術を通して死んだ愛する者たちになりすましたり（ヨハネの黙示録 18:23）、おそらく、聖書の預言者や使徒たちのふりさえもすることでしよう。これらの偽りの（ヨハネによる福音書 8:44）悪魔は、すべての人が協力することを神が要請しておられるので彼らを違わされたのだと主張することでしよう。

サタンはキリストとして現れる；

悪天使たちは、キリスト教の牧者になりすまします。

悪天使たちはまた、信心深い牧者として現れ、サタンは光の天使として現れます（コリント人への第二の手紙 11:13-15）。最後を飾る奇跡として、サタンは自分がキリストであると断言します（マタイによる福音書 24:23, 24）。サタンはキリストを装いながら安息日を日曜日に変更したと難なく主張し、彼の支持者たちに世界的なりバイバルを続けさせ、サタンの「聖なる」日である日曜日を正当化しようとします。



最後を飾る奇跡として、サタンはイエスを装う。

何十億という人々が騙されます。

何十億という人々がサタンがイエスであると信じ、サタンの足下にひれ伏し、偽りのリバイバル運動に加わりまします。「全地の人々は驚き賞賛して黙に従う。」ヨハネの黙示録 13:3 NEB.* その惑わしは、全く抵抗できないほどの力があります。けれども世の終わりの神の民は惑わされることはありません、彼らはすべての事柄において聖書の言葉を試金石とするからです（イザヤ書 8:19, 20；テモテへの第二の手紙 2:15）。聖書は神の律法は変わることがないと言っています（マタイによる福音書 5:18）。また、イエスが御再臨されるときは、すべての人の目が見るとも書かれており（ヨハネの黙示録 1:7）、イエスは地を踏むことはなく、雲の中に留まられ、イエスと空中でお会いするために神の民を招き集められます（テサロニケ人への第一の手紙 4:16, 17）。

*新英語聖書, (C) 1961, 1970 by the Delegates of the Oxford University Press and the Syndics of the Cambridge University Press. Used by permission.

16. 私たちは世の終わりの強力な欺瞞から、どのように安全に守られますか？

答え：

- A. すべての教えを聖書によって試す（テモテ第二の手紙 2:15；使徒行伝 17:11；イザヤ書 8:19, 20）。
- B. イエスが真理を示されたら、それに従う。イエスの御心を行う者は決して誤りに陥ることはないと言われている（ヨハネによる福音書 7:17）。
- C. 日々、イエスのそば近くに留まる（ヨハネによる福音書 15:5）。

確認： 以上の学びは、九つからなる三天使のメッセージの聖書講座の六番目になります。次の学びは、キリスト教会とほかの世界的宗派がどのように終末時代の出来事と関わってくるのかを明らかにします。

17. あなたはイエスを礼拝し従うことが、嘲（あざけ）りや迫害、そして最後は死刑宣告であったとしても喜んで従いますか？

答え：

- はい
- いいえ

質問

1. 最後の危機において、神の真理を一度も聞いたことのない人々が、知らずに偽りを選んだゆえに滅びてしまうことは公平なことには思えません。マルコによる福音書 16:15

現代のための、神の重要な三つのメッセージ（ヨハネの黙示録 14:6）を前もって聞き（マルコによる福音書 16:15）、そして理解（ヨハネによる福音書 1:9）することなしには、だれも最後の危機に直面することはありません。その危機の時に、人々は獣の刻印を受けることを選んでしまうのですが、それはただ彼らが、キリストに従う際に払わなければならない代償を支払いたくないというだけのことなのです。

2. ヨハネの黙示録 16:12 - 16 で語られているハルマゲドンの戦いとは何ですか？それは、いつ、どこで戦われるのでしょうか？ヨハネによる福音書 16:16

ハルマゲドンの戦いとは、キリストとサタンとの間の最終的な戦いです。世の終わりの直前に、この地上で戦われます。この戦いは、イエスのご再臨によって中断されますが、千年ののち、悪人が聖なる都を占領するために包囲するときに再び始まります。神が天から悪人に火を降らせ、彼らが滅ぼされたときに戦いは終わります（ヨハネの黙示録 20:9）。（聖書講座 12 課では、千年期のことについて詳しく説明されています。）

「ハルマゲドン」という言葉の意味は何ですか？

ハルマゲドンは、キリストとサタンとの間の「全能なる神の大いなる日の戦い」の象徴的な名称で、世界のすべての国々が関与することになります（ヨハネの黙示録 16:12-16,19）。「東の王たち」（訳注：日本語聖書では「日の出る方から来る王たち」と訳されています）は、父なる神と、子なる神のことです。聖書の中で「東」は神の天の王国を象徴しています（ヨハネの黙示録 7:2；エゼキエル書 43:2；マタイによる福音書 24:27）。この最終的な戦いにおいて、事実上、全世界が子羊なるイエスと、神の民に対して戦うために団結します（ヨハネの黙示録 16:14；17:14；19:19）。団結した悪人たちの意図することは、獣を拝して獣の刻印を受けることを拒むすべての人々を一掃してしまうことです（ヨハネの黙示録 13:15-17）。

拒絶の結果により欺瞞に陥ってしまふ。

最終時代のための神の三つのメッセージを拒む人々（たとえそれが真実であると知っていたとしても）は、完全に惑わされ、偽りを信じるようになります（テサロニケ人への第二の手紙 2:10-12）。彼らは神の民を滅ぼすことに尽力することは、神の偉大な王国を支持しているのだと心から信じるようになってしまいます。そして偽りのリバイバルに協力することを拒否する聖徒たちのことを、全世界を破滅に陥らせている、絶望的に欺かれている狂信者であると信じてしまいます。

イエスの再臨は戦いを中断する。

戦いは全世界的なものになります。各政府は一斉に神の民を滅ぼそうと企てますが、神が介入されます。象徴としてのユフラテ川が乾いてしまいます（ヨハネの黙示録 16:12）。水は人々を象徴しています（ヨハネの黙示録 17:15）。ユフラテ川が乾くということは、獣（サタンの王国）を支持していた人々が突然、手を引いてしまうということです。ですから獣の支持が乾き切ってしまうということなのです（ヨハネの黙示録 16:13, 14）。同盟者たちは、ばらばらになり崩壊してしまいます（ヨハネの黙示録 16:19）。イエスの再臨はこの戦いを中断させ、神の民を救います（ヨハネの黙示録 6:14-17；16:18-21；19:11-20）。

千年の後に戦いは再開する。

千年の後、サタンは、神と、神の民に敵する諸力の頭として、真正面から姿を現します。そして聖なる都を包囲することを試みることで、再び神に対する戦いを再開します。サタンと、彼に従った者たちは、天からの火で滅ぼされてしまいます（聖書講座 11 課, 12 課をご参照ください）。サタンの従者はすべて滅ぼされますが、イエスに従うすべての人々は永遠の王国へ入ります。

3. 「あなたがたを殺す者がみな、それによって自分たちは神に仕えているのだと思う時が来るであろう。」ヨハネによる福音書 16:2 と聖書に書かれています。これは私たちの時代に、実際に起こることなのでしょうか？ヨハネによる福音書 16:2

これは実際に起こることです。終末時代における世界政府と宗教の同盟は、偽りのリバイバルと、獣の刻印（日曜礼拝）を拒む神の民に対する同情を、最終的にまったく無くしてしまいます。彼らの偽りのリバイバルに伴う驚くべき奇跡 -- 病が癒され、そして神を目の敵にしていた悪評の者たちや、不道德な映画俳優たち、また麻薬密売組織の人物たちや、悪名高い犯罪者たちが改心するということ、このリバイバルが真正正銘のものである証拠だと思ってしまう。この同盟は、すべての宗教が集められた世界的リバイバルをだれも潰すことは許さないと断言します。すべての人が個人的感情や「狂信的な教え（たとえば安息日など）」を放棄し、平和と兄弟愛の真摯なリバイバルに、世界のほかの国々の人々と共に加わることを強く要請されます。これに協力することに同意しない人々は、忠誠心と愛国心がなく、無政府主義者で、最後には黙認されるべきではない危険な狂信者であると見なされます。その時には、神の民を殺す者たちが、神に仕えているのだと思うようになります。

4. ダニエル書とヨハネの黙示録を研究するにつれて、本当の敵は常に悪魔であることが明らかのように思えます。そうでしょうか？ヨハネの黙示録 12:17

まったくそのとおりなのです！常にサタンが本当の敵です。サタンは、神の民に害を与えるために、地上の指導者や国々を通して働きますが、それによってイエスと父なる神に痛みをもたらすためののです。私たちはいとも簡単に、サタンが敵であるということを忘れてしまいます。サタンこそはすべての悪の責任者なのです。彼に責任を負わせましょう。そして、神の民や教会に害を加える組織や人々を裁いて、非難することに気をつけましょう。ときに彼らは十分に知らされておらず、誰かを苦しめているなどはまったく気付かないことさえあるからです。けれどもサタンに関してはこれは真実ではありません。彼は常にすべてを理解しており、神の民を意図的に苦しめるのです。

5. 法王の死や、新しい大統領の選出は、ヨハネの黙示録 13:11-18 にあるアメリカ合衆国の預言にどのように影響するのでしょうか？ヨハネの黙示録 13:18

だれが法王、また、大統領であったとしても預言は成就します。新しい大統領や法王は、一時的に預言の成就を早めたり、遅らせたりするかもしれませんが、最終的な結果は、聖書の預言によって確認されています。

6. ヨハネの黙示録 13:11-18 の子羊のような角を持った獣と、ヨハネの黙示録 16:13 の「にせ預言者」は同じ権力ですか？ヨハネの黙示録 13:11

同じ権力です。ヨハネの黙示録 19:20 で、神は、反キリストである獣の滅びについて述べておられますが、にせ預言者の滅びについてもここで述べておられるのです。この句で神は、にせ預言者のことを、獣の前で「しるしを行って」「獣の刻印を受けた者とその像を拝む者とを惑わした」と特定しておられます。これはヨハネの黙示録 13:11-18 で説明されている子羊のような角を持った獣の活動について述べられているものであることはきわめて明白なことです。今回の聖書講座において子羊のような角を持った獣がアメリカ合衆国であることを見極めました。ですから子羊のような角を持っている獣とにせ預言者は明らかに同じ権力です。

クイズ

1. 聖書の預言の中でのアメリカの象徴は (1)

- 赤、白、青の服を着ている男。
- 背中にコンピューターを背負っている鷲。
- 子羊のような二本の角を持った獣。

2. 二つの角は何を象徴しますか?(1)

- 富と軍事力
- ベンジャミン・フランクリンと、ジョージ・ワシントン
- 政治と宗教の自由

3. 「地から上がって来た」とはどんな意味ですか?(1)

- アメリカ人は田舎の生活を愛する。
- 新しい国は、人口の少ない地域から起こる。
- 早期のあるアメリカ人たちは、洞穴に住んでいた。

4. 預言における子羊のような角を持ったアメリカ合衆国は、以下のような意味です。(1)

- しりごみして、妨害される。
- 羊を養う国となる。
- 平和を愛し、霊的な国として現れる。

5. 黙示録 13 章の預言では、アメリカ合衆国はいつ頃起こると示されていますか?(1)

- 1492 年
- 1798 年
- 1620 年

6. ヨハネの黙示録 13 章には、アメリカは最終的に「龍のように」物を言うと言記されていますが、これはどのような意味ですか?(1)

- その民は怒りで満ち、理解するのが困難である。
- アメリカは、破壊するために火を噴出す武器を用いる。
- アメリカは、良心に反して礼拝することを強制し、それを拒むならば死刑の宣告を受ける。

7. 神の権威の印(しるし)は (1)

- 羊
- 二つの角を持った獣
- 神の聖なる日、安息日

8. アメリカ合衆国は、どのように「獣の像」を造りますか?(1)

- 多くの獣の写真を作って、それを売ることによって。
- ワシントン D.C.に、獣の銅像を作って、それを展示することによって。
- 政教一致を実現し(教皇制度の権威が頂点にあった際の模範に従い)、宗教的な法令を制定することによって。

9. ヨハネの黙示録 13:15-17 は、獣の刻印を拒む者に対して、どのような刑罰が課せられると預言していますか?(2)

- 売り買いができなくなる。
- 宇宙に追放される。

- 死に処せられる。
- 獣に対して個人的に懺悔する事を強いられる。

10. 終末時代において、最も大きな影響力を有するようになる地上の二つの権力は?(2)

- 復興したヨーロッパ
- 日本
- 中国
- アメリカ合衆国
- ローマ法王制度

11. ハルマゲドンの戦いにおいて真実なものは下記のどれですか?(6)

- 地球最後の戦いである。
- 「東の王たち」は日本と中国である。
- 獣の目的は、神の民を滅ぼすことである。
- それは世界的な規模のものである。
- それはキリストの再臨の少し前に始まり、千年ののちに、悪人が聖なる都を包囲して終わる。
- ハルマゲドンは、キリストと反キリスト、あるいは、サタンとの最後の戦いの象徴的な名前である。
- ユフラテ川が乾くという意味は、最終的には、獣、または反キリストは、支持者をほとんど失ってしまうということである。
- それはパレスチナだけで、戦われる。

12. 最終時代の神の真のリバイバルは、どのような効を奏するのでしょうか?(2)

- 全世界が改心する。
- 地上のすべての人々がこのメッセージを聞きく。
- 何百万という人々がこのメッセージを受け入れる。
- それは成功しない。悪魔がそれを邪魔する。

13. 終末時代の偽りのリバイバルはどのような成功をもたらすのでしょうか?(1)

- 多くの国々はそれを支持しない。
- それはアメリカとヨーロッパだけで成功する。
- 終わりのときの神の民を除くすべての人々が、加わり支持する。

14. 偽りのリバイバルにおける奇跡は、どのように強力ですか?(2)

- それほどではない。人々はそれをごまかしと見なす。
- ほとんど全世界をだますほど、強力なものである。
- 無学な人々だけが、それにだまされる。
- それは非常に強力で、神の選民だけがその惑わしから逃れることができる。

著作権 ; 2006 年 Amazing Facts Inc. 無断での複製、転載を禁じます。
個人使用に限ってのみ複写可。 by www.bibleuniversity.com Bible School website.